

英国・ローリー・クラフト社

レコード・クリーニング・システム

モデル PRC-4J

取り扱い説明書

Operation Manual

Soundbox

はじめに

この度は「英国ローリークラフト・オーディオ社」プロ用レコード・クリーニング・システムをお買い上げいただきありがとうございます。

ローリークラフト・オーディオ社レコードクリーニングシステムは他のどのマシンと比較してもその優れた機能と性能で、英国を始めヨーロッパ、アメリカの多くのプロ・オーディオの方々、レコード・ショップあるいは個人のレコードファンの方々に満足していただいています。本機を使用して、レコードコレクションを更に価値あるものに高め、レコード鑑賞をより高いレベルで楽しんでください。

このユニークなレコードクリーニングシステム性能を十分に発揮させ、また安全にご使用いただくためにこの取り扱い説明書をよくお読みになり未長くご使用下さい。

カートンを開けましたら下記のものが入っていることを確認して下さい

- モデル PRC-4 J 本体
- アーム (メイン・カウンター・ウェートを含む)
- 洗浄液受けボトル
- レコード・ブラシ
- 取り扱い説明書
- L' Aet du Son 洗浄液
- ナイロン糸
- 電源コード
- 保証登録ハガキ

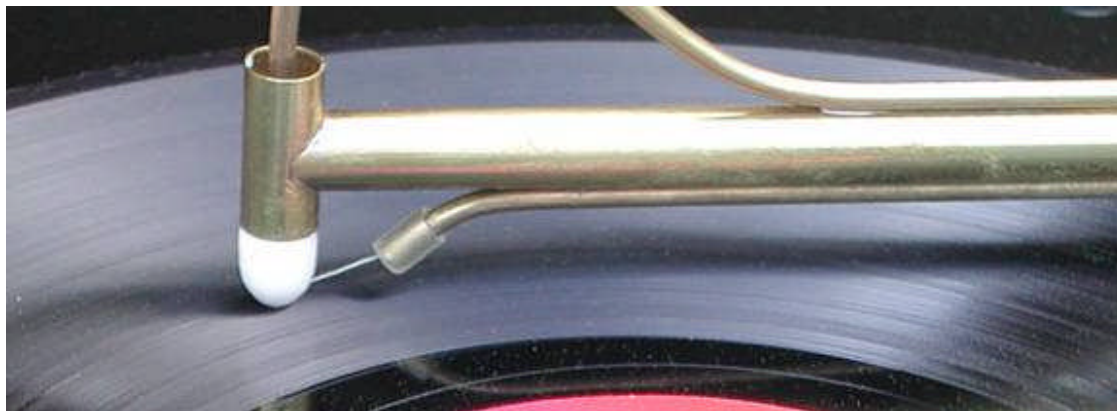
ローリークラフト・オーディオ レコードクリーニングシステムご使用方法

1. カートンから本体と付属部品を取り出します。その際アームと小さな部品を破損させないように気をつけてください。
2. 本体を平らな場所に設置します。傾いているとアームが正常に動作しない場合があります。
3. 洗浄液受け容器を本体横の所定の位置に写真にあるようにフックスプリングで固定します。



4. 透明な6 mmの太いチューブを洗浄液受け容器の太い方のニップルに差し込んでください。次にそのチューブのもう一方を本体横の差込口に取り付けます。
5. 透明な3 mmの細いチューブを洗浄液受け容器の細いニップルに取り付けます。もう一方は既にアームに固定されています。その際洗浄液受け容器の3 mmのニップルが本体後方になる様に洗浄液受け容器を回転させます。伸縮性のある洗浄液受け容器固定用バンドは洗浄液受け容器を取り外すのに便利です。
6. 真空ポンプのスイッチを入れ、ナイロン糸をアームの先端の吸い込み口より吸い込ませます。その際糸が洗浄液受け容器の中に6-8 cm程度出ていることを確認してください。これで洗浄液が糸を伝わって洗浄液受け容器に導かれます。

7. フォノ用ピックアップ・アームのようにアームの後ろのウェートを調整してバランスをとります。アームが上下に弾むようにウェート調整します。理想的な圧力は2.5gですのでフォノ用アームの場合針圧計で測っていただく要領で調整してください。このアームはレコードの内側から外側にモーター駆動で移動します。マグネット式のクラッチが内蔵されていますので左右にふることができますが、機構が繊細ですので扱いは優しくしてください。



8. アームの圧力が設定できたら、アームのカウンタ・ウェートを付属の工具でウェート横のネジを締めてロックします。

これでご使用の準備ができました。



操作方法

湿式のレコード・クリーナー用として使用される洗浄液のほとんどはローリークラフト・レコード・クリーニング・マシンで使用できますが、ローリークラフト専用洗浄液「L' Aet du Son」を使用いただくと最も良い結果が期待できます。

PRC-4Jには「L' Aet du Son」洗浄液一本が付属しています。この洗浄液は濃縮タイプです。付属の説明書を良く読んで正しく使用してください。この「L' Aet du Son」洗浄液は全くアルコール分を含んでいません。アセテート、シェラック、ラッカー盤等、78回転（SPレコード）盤等にも安心してご使用いただけます。

1. レコードをターンテーブルに置き、ターンテーブル・モーターのスイッチをForwardの位置にしますとターンテーブルが通常の時計廻り回転し始めます、またReverseにしますと反時計回りに回転します。この機能は新型で新たに追加された機能で、正回転と逆回転にてそれぞれ一回ずつクリーニングしていただければより完全なクリーニングができます。クリーニングに当たっては先ず、洗浄液を約5cc程度レコードの表面に中心のラベルを避けながら絞りだします。ナイロンブラシをレコード面に対して垂直に持ちながら、洗浄液がレコードの溝になじむように広げていきます。その際ブラシに圧力をかける必要はありません。洗浄液が広がることに注意してください。規定以上の洗浄液を一度に使用しないようにしてください。余った洗浄液が遠心力で飛び散り周囲を濡らすことになります。もし、飛び散ってしまったら、ティッシュペーパー等で拭き取ってください。レコードの溝が全て洗浄液に覆われたことを確認してください。



吸い取りアームをレコード再生時とはセンタースピンドルをはさんで反対側のレーベルの外側にセットします。ターンテーブルのスイッチを入れ、時計回りにターンテーブルの回転が始まるのをみながらアームを回転方向とは反対になるようにセットして(アームは内側から外側にモーターにより自動的に移動します)、スイッチを倒します。アームは約60秒でレコードの端まで移動します。レコードの縁までアームが移動しましたら、アーム・ターン・スイッチと真空ポンプの各スイッチを切りクリーニングが終了します。

2. アームがレコードを横断する際ナイロン糸の緩み、結び目等は気にしなくても構いません。余った糸はクリーニング・サイクルの最終的な部分に吸いこまれます。この現象が起こっても糸がまた元にピンと張るようになります。

3. レコードの片面のクリーニングが終わりましたら、反対側の面を同様にクリーニングします。糸の緩みをつけるように糸車を数ミリ回転させます。これにより次のクリーニング用に糸が新しくなります。同様にもう片面のクリーニングをします。

4. 新品のレコードであっても初めて再生する前にローリークラフト・レコード・クリーニングシステムでクリーニングすることをおすすめします。レコード製造時にはメタル・スタンパーからビニール製LPをはがしやすくする型抜きコンパウンドが使用されます。このコンパウンドがレコード面に残っていると再生時にノイズがのることがあります。このクリーニングによりノイズの少ない再生が可能になります。さらに型抜きコンパウンド除去を効果的におこなうにはマイクロ・ケアの「プレミア」を使用してください。

ご注意：

ナイロン・ブラシは洗剤液を広げるだけにしてください、またレコード面をこすらないでください。ブラシを強くターンテーブルが止まってしまいくらい押し付けるようなことは絶対避けてください。レコード・ブラシがレコードの溝をきれいにするのはありません。実際、硬いブラシで強くこすった場合にはレコードの溝にキズをつけてしまうことがあります。LPレコードの溝はおよそ0.002インチの幅です、一方ブラシの一本一本は0.007インチです。クリーニングをするのはブラシではなく洗剤液です。

お手入れ

ローリークラフトオーディオ・レコードクリーニングシステムは高品質の部品を使用して組み立てられています。本機は長期にわたり高い信頼性を保ちますが、万一修理等のサービスが必要な場合はサウンドボックスにご相談ください。 **In the unlikely event service is ever needed in Japan, contact Soundbox. by phoning number (03) 5577-5227 or FAX (03) 3305-2519. Our email address is info@soundbox.co.jp**

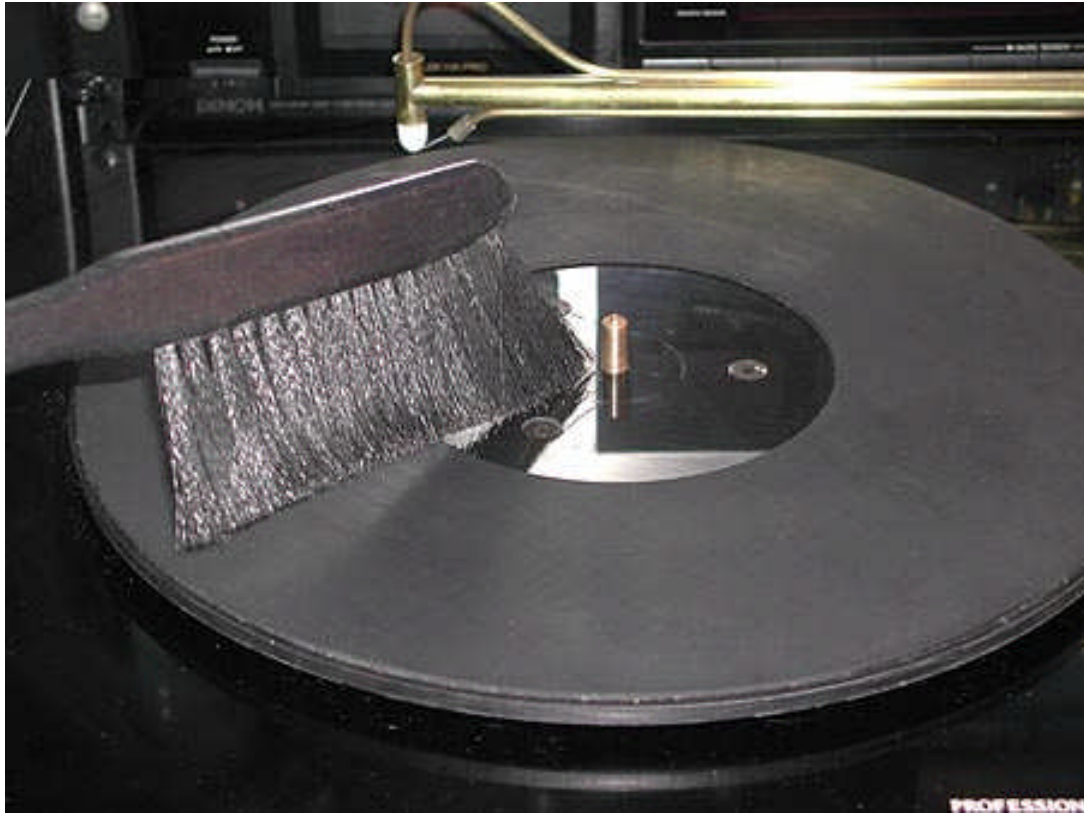
ほとんどのビニール製レコードは紙等のスリーブと紙のジャケットに入った状態で供給されています。レコードをパッケージから取り出すときレコードに小さな斑点様のものに気付くとおもいます。これはビニールによって生ずる静電気を減少させる働きの一部を担っています。この静電気は小さな塵当を引きつける性質があります。ローリークラフトのクリーニング・マシンはその優れた性能でこうした塵を簡単にきれいにすることができます。こうした細かな塵は洗浄液をつける前にブラシを使用してきれいになります。この目的のブラシはいろいろなメーカーから発売されています。こうしたブラシのなかにはそのブラシの中にカーボン・ファイバーが植え込まれているものを使用するとレコードの静電気を分散させるのに役立ちます。一度ローリークラフトのクリーニング・マシンでクリーニングするとその後クリーニングしなくてもレコードが良好な状態を保つことがお分かりになるとおもいます。紙製のレコード内袋を使用しないで静電気防止処理されたものに交換することを強くお勧めします。

洗浄液受けボトルは少しずつナイロン糸と使用済み洗浄液で満たされていきます。その量が容器の半分くらいになりましたら、容器をはずして中身を捨ててください。その際ナイロン糸は約7-8cmくらいの長さを残してハサミで切ってください。容器は取り付け前に洗浄してください。

洗浄液受け容器を開けるのには容器を掴んでキャップを時計回りと反対方向に廻します。開け閉めには工具等を使用しないでください

もし洗浄液が多すぎて飛び散ってしまった場合は乾く前にふき取ってください。乾いてしまっている場合は家庭用のガラスクリーナーを使用してふき取ってください。アルコール、シンナー等の溶剤を使用しないでください。スイッチのゴムカバーは洗浄液等がスイッチ本体に入り込むのを防いでいます。

効果的にすばやくラバー・ターンテーブルからほこり等をきれいにするのにはターンテーブルを回転させながら写真のようなブラシを使っただけのが最適です。レコードの汚れのある面から落ちたごみ等はこのゴム製マットに付着しますのでこうしたブラシできれいに保ってください。



ご愛用いただいているお客様からのアイデアです。洗浄液をブラシでレコードの縁に沿ってま
ず広げていきます。これは指紋等一番汚れが付きやすい部分だからです。その際ブラシを外向
きに広げると洗浄液が外側に飛び散りますので気をつけてください。



- ・洗浄液を広げるブラシはぬるま湯に少量の中性洗剤を加えて時々洗ってください。
- ・ ナイロン糸はその糸車が自由に動くように、また糸が吸い込まれやすいようにピンと張った状態にしておいてください。
- ・ ナイロン糸は約50mの長さです。レコード一枚で約5-6mm使いますので、一巻きで千枚以上のレコードクリーニングが可能です。糸が無くなりましたら、新しいものと交換してください。その際ふるい糸の末端を新しい色の先端と結んで真空パイプに吸い込んでいただくと簡単に取替えが可能です。
- ・ 本機で使用するナイロン糸は艶出し処理のしていない#30のものです。綿（コットン）糸は使用しないでください。この指定された糸を使うことにより最高の性能が発揮できます。レコードをクリーニングする際はレコードを本機に載せたまま放置しないでください。埃が再度付着します。クリーニングしたレコードは静電気防止のスリーブに入れて、次回聴くときまで保管されることをお勧めします。



グースネック・ランプをもしお持ちであれば、埃、指紋、ペーパー・フレックス、ヨゴレ等をはっきり目で確認することができます。普通の部屋の明かりですとこうしたレコードに付着している細かいものの確認ができません。

Nothing cleans Records more thoroughly than the Loricraft!

輸入発売元

サウンドボックス株式会社

〒182-0002 東京都調布市仙川町2-13-32

Tel: (03) 5577-5227 Fax: (03) 3305-2519

<http://www.soundbox.co.jp>